

論文概略

論文タイトル	Hand-opening feedback for myoelectric forearm prostheses: Performance in virtual grasping tasks influenced by different levels of distraction
掲載誌名	Journal of Rehabilitation Research and Development
巻号項	Volume 49 Number 10 Page 1517
出版年	2012年

支援機器	Myoelectric forearm prostheses
分類(ISO9999)	6
試験相	1
研究仮説(目的)の概要	目的: 装具の手の開口部についてフィードバックと注意要求することで達成できる把持タスクにおける機能を評価すること
研究デザイン	群内比較(自己対照)
障害・疾患	記載なし
対象者・数	健常者10人
主要アウトカム	手の位置の比較
副次アウトカム1	VAS(知覚難易度)
副次アウトカム2	
副次アウトカム3	
副次アウトカム4	
副次アウトカム5	
統計学的検定	無
結果の概要	振動触覚フィードバックにより正しい手の位置を増加させ、誤差を減少させた。注意妨害は程度が大きいと影響が出やすい

論文整理番号 248 ※正確な情報が必要な場合には、元の論文を確認してください。

「支援機器の臨床評価および利用効果データベース」
 支援機器イノベーション創出のための情報基盤構築に関する研究
 (H26～28 国立研究開発法人日本医療研究開発機構 障害者対策総合研究開発事業)

国立障害者リハビリテーションセンター